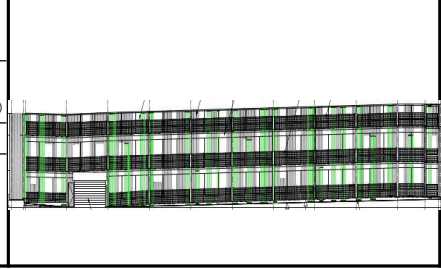


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市藤白台5丁目計画 新築	階数	地上2F 地下0F
建設地	大阪府吹田市藤白台	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	97 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年12月 予定	評価の実施日	2024年3月13日
敷地面積	16,674 m ²	作成者	株式会社IAO竹田設計
建築面積	2,385 m ²	確認日	2024年3月13日
延床面積	4,648 m ²	確認者	株式会社IAO竹田設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ ★ B+: ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ C: ★

S: ★ ★ ★ ★ ★ A: ★ ★ ★ ★ ★ B+: ★ ★ ★ ★ B: ★ ★ ★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.9**

Q1 室内環境 **Q1のスコア = 0.0**

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気質環境	N.A.

Q2 サービス性能 **Q2のスコア = 2.9**

機能性	N.A.
耐用性	3.1
対応性	2.8

Q3 室外環境(敷地内) **Q3のスコア = 3.0**

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.3**

LR1 エネルギー **LR1のスコア = 0.0**

建物外皮の	N.A.
自然エネ	N.A.
設備システ	N.A.
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル **LR2のスコア = 3.2**

水資源	3.0
非再生材料の	3.0
汚染物質	4.4

LR3 敷地外環境 **LR3のスコア = 3.3**

地球温暖化	N.A.
地域環境	3.4
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
耐用年数の高い配管・仕上げ材を採用し、耐用性の向上に配慮した。	特に無し
Q1 室内環境 特に無し	Q2 サービス性能 耐用年数の高い配管・仕上げ材を採用している。
Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、敷地内の緑化に努めている。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により、敷地内の緑化に努めている。
LR1 エネルギー 特に無し	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材を使用し、資源の保護に努めている。
LR3 敷地外環境 特に無し	LR3 敷地外環境 ガイドラインに沿い、光害対策に取り組んでいる。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市藤白台5丁目計画 新築工事 3工区 B-1敷地(駐車場棟)					
	建設地	大阪府吹田市藤白台					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					評価対象外	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					評価対象外	
④	エネルギー削減					評価対象外	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		-
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		-
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		-
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		